

# 質疑・一般質問

8月通常会議では、29人の議員が、まちづくり、くらし、教育、福祉・医療など、さまざまな分野にわたり質問しました。なお、「質疑」は提出された議案に対する質問、「一般質問」は市政全般に対する質問のことをいいます。

日程	議員名	主な質問の項目	掲載面
9月7日	桐田真人	<a href="#">ラグビーワールドカップ2019日本大会の代表チームのキャンプ地選定</a>	9ページ
	幸光正嗣	国民健康保険における医療費適正化の取り組み <a href="#">まちづくり協議会の設立</a>	9ページ
	石黒賀津子	子ども医療費無料化の拡充 介護保険法改正への対応 <a href="#">児童クラブの夏休み保育</a> 障がい者の暮らし	8ページ
	嘉田修平	<a href="#">市立図書館の利便性向上</a> バイオマス資源利用促進	8ページ
	中野治郎	インバウンド事業 <a href="#">都市計画道路比叡辻日吉線拡幅事業</a> 比叡山坂本駅前整備	6ページ
	高橋健二	<a href="#">生活困窮者自立支援の取り組み</a> マイナンバー制度導入への対応	8ページ
	杉浦智子	<a href="#">国民健康保険制度の広域化</a> 公民館活動の活性化 臨時・嘱託職員の処遇改善	8ページ
河村浩史	<a href="#">台風11号発生時の市民の避難状況の検証</a> 市役所食堂の再開	8ページ	
9月8日	奥村功	<a href="#">雨水対策</a> 災害対策 街路樹の管理	7ページ
	谷祐治	<a href="#">市民病院敷地内の建物の問題解決</a> 市立図書館の運営 市長のパワー・ハラズメント調査費	10ページ
	山本哲平	議案第159号 公会計利活用の促進 監査委員事務局の共同設置 <a href="#">市長のタクシー問題</a>	10ページ
	濱奥修利	ロタウイルスワクチン接種の公費助成 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の充実 <a href="#">防災対策</a>	7ページ
	藤井哲也	議会に対する市長の姿勢 <a href="#">定住・移住政策としての都市ブランディング</a> 茂呂前副市長のブログ	10ページ
	改田勝彦	鳥獣被害の対策 歩道や生活道路の維持・修繕 <a href="#">知的障がい者の療育手帳の更新通知</a>	8ページ
	八田憲児	生活保護事業の課題 <a href="#">家庭ごみふれあい収集の実現</a> 大津びわこ競輪場跡地の利活用	7ページ
9月9日	西村和典	伊香立地域のまちづくり <a href="#">市立幼稚園のあり方検討</a>	9ページ
	川口正徳	保育士の資質向上への取り組み <a href="#">保育所の適正配置の課題</a>	8ページ
	河井昭成	ランナーのための施策 <a href="#">まちなかの多機能な空間の確保</a> 次代の市民センターのあり方	7ページ
	草野聖地	小中学校教員の労働環境の改善 <a href="#">少子高齢化対策としての同居促進制度</a>	9ページ
	林まり	<a href="#">プラスチック製容器包装の処理</a> マイナンバー制度の導入対策 アルコールの健康障害対策	7ページ
	竹内基二	外国人観光客の誘致策 疏水観光船の運航 町家の利活用 <a href="#">膳所の歴史を生かしたまちづくり</a>	6ページ
	立道秀彦	<a href="#">市民の交通権を守る公共交通確立のための取り組み</a> 生活保護の充実 穴太団地跡地の活用	7ページ
伊藤茂	<a href="#">なぎさ公園の整備</a> 自主防災会の育成強化と地域コミュニティの醸成	9ページ	
9月10日	草川肇	豊かな子育て環境 <a href="#">障がい者スポーツの推進</a>	9ページ
	船本力	コールセンターの効果 防犯カメラの課題 補助金の委託化 観光トイレ設置 <a href="#">滋賀国体に向けて</a>	9ページ
	岸本典子	安全保障関連法案 市北部における環境問題 <a href="#">防災対策</a>	7ページ
	近藤眞弘	地域公共交通活性化施策 コールセンター運営課題 <a href="#">防犯カメラを活用した地域・通学路の安全対策</a>	7ページ
	佐藤弘	<a href="#">住宅確保要配慮者への居住支援</a> 電子化行政データの整備 オープンデータ ごみカレンダーの配布	8ページ
武田平吾	大津の居住人口の平準化と均衡ある発展 <a href="#">湖西台土地区画整理事業用地</a> 市立幼稚園・保育園のあり方	9ページ	

各議員の質問の中から1項目を選んで、要旨を分野ごとに整理し、所属議員が多い会派の順番に掲載しています。

## まちづくり

「粟津の晴嵐」を後世に  
伝えるため松の植樹を

竹内基二

**問** 粟津中学校南西側の旧東海道沿いにある松は近江八景「粟津の晴嵐」の象徴であり、これを後世に伝えるため、松が立ち枯れた場所に新しい松の植樹を

**答** 当該道路は歩道幅員が非常に狭く、加えて植樹帯の縁石が車道側にはみ出ており、歩車道の安全確保の観点から植え替えは望ましくないと判断している。旧東海道沿いにあった松並木を後世に伝えるため、なぎさ公園の「膳所晴嵐の道」に松が植栽されており、その役目は引き継がれていると考えている。

## 門前町坂本にふさわしい 都市計画道路拡幅事業の実施を

中野治郎

**問** 比叡辻日吉線拡幅事業の課題と、財源の確保に係る方策、門前町坂本にふさわしい景観形成の取り組みは

**答** 本事業は遺跡調査などで工事着手が遅れる懸念があるが、歩道がない危険区域から優先的に着手し、地権者が早期に生活再建できるように、測量や補償調査を実施する。今後も国の防災安全交付金を活用して財源の確保に努める。家屋の建て替えなどは修景整備の指標となるガイドラインを策定し、国の補助制度を活用した支援方法を検討する。